

演題名	車いすの運用管理の適正化		
施設名	花川病院	ふりがな 発表者(職種)	ばん さちえ 伴 幸恵 (事務)
ふりがな チーム名	えいちだぶるえふ はなかわ ういるちえあ ふあいたーず HWF(Hanakawa Wheelchair Fighters)		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	車いすはレンタル品を中心に運用されているが、過去に当院で購入した車いすも併用されており、品質に大きな差が生じています。車いす老朽品の更新・撤去、運用フローの見直し、配置・点検・清掃ルールの整備を図ることで、患者さん、職員に安心して使用、運用してもらえる体制を整えたいと考えました。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 保管場所の車いすが適正台数になっているか (目標値) 溢れている車いすを0台にする		
実施した対策	<ul style="list-style-type: none"> アンケート、松永製作所講師による研修を実施しました。 イベント用品、備品を院外倉庫へ移動し整理し、床にラベル・テープを貼り保管場所を明確にしました。 適正台数を徹底調査し決めました。 名称を変更しテプラの張替え、清掃を終えている車いすに使用可能札を作成しました。 病棟毎ファイルをレンタル種類別に変更、商品写真を追加しリスト化しました。 マニュアル等を刷新、多種ツールで周知しました。 		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 保管場所から溢れている車いすが36台 (実施後) 保管場所から溢れている車いすが0台		
歯止めと 標準化	<ul style="list-style-type: none"> 車いす保管場所を総務課主任が1か月に一度確認する。 車いすの返却申請ファイルをリハビリ主任、看護主任が1か月に一度確認する。 車いすの適正台数をリハビリ主任、看護主任、総務担当者が半年に一度、調査打合せをする。 マニュアルを所属部署の教育担当が入職後1か月以内に指導徹底する。 		
活動の種類 ※複数選択可	①職場単位の活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 伴 幸恵 事務
活動の場 ※複数選択可	①診療部門 ②支援部門 ③管理部門		2 金子 宏美 医療ソーシャルワーカー
活動期間	2025年1月 ~ 6月		3 五十嵐 圭子 看護師
リーダー名 (職種)	伴 幸恵 (事務)		4 美馬 留珠 看護師
活動回数	10 回		5 田村 由美子 看護師
			6 加藤 久典 理学療法士
			7 加藤 果歩 事務
			8 高橋 広大 事務

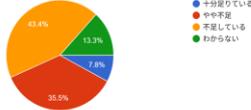
【現状把握】

現状把握①

保管場所について

保管場所のスペースに関するアンケート結果

車いすの保管場所については十分だと思いますか
166件の回答



約80%以上が保管スペースが十分でないと回答



現状把握②

保管場所について

保管場所のスペースが不足

- ・車いすを保管するスペースが狭く、何台も重ねたり、無理に押し込んだりしているため、取り出しにくい。
- ・各階に保管場所があるのが理想的。
- ・片付けやすく持ち運びしやすい広さがあると良い。
- ・職員との通り道が非常に狭くなる。
- ・訪問リハビリや更衣室隣の廊下に患者や家族が来ている時にバックヤードがバックヤードでは無くなるので見た目が悪い。



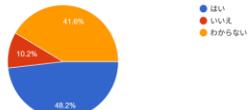
保管場所からあふれている車いす歩行器の台数は
約36台 (1階廊下の平均台数)

現状把握③

レンタルのルールについて

レンタルのルールについてのアンケート結果

車いすのレンタルルールは明確に定まっていると思いますか
166件の回答



約50%以上が「わからない」「いいえ」と回答



現状把握④

レンタルのルールについて

- ・「レンタル品」と「病院所有車いす」の区別がつかない。
- ・病棟、リハスタッフ管理などややこしい。清掃の有無もややこしい。
- ・関係部署のみでルールを周知するのではなく、職員全体で周知した方が良い。
- ・患者様が退院し清掃後、車椅子を戻すのはリハスタッフか病棟スタッフが各階でパコパコなので決まっている方がスムーズに返却しやすい。
- ・エクセルのフォルダ内の記載されている車椅子が定期的に消えていることがある。

全職種を対象としたルールの周知・教育の強化

運用マニュアルや掲示物の整備、フローの簡略化

ルールの統一的理解の促進



現状把握⑤

レンタル台数やコスト

病院レンタル 合計92台 約26万円



適正数がわからず各階保管数もばらつきがある



要因の解析 重要要因の検証・真の要因の判定

重要要因	検証方法	結果からわかった事	判定
① 故障、古い車いすの廃棄するタイミングが不明	リハビリ、看護、事務数名にアンケート実施	100%のスタッフが知らないと回答	真の要因
② 保管場所が狭い	アンケート実施	80%以上のスタッフが「保管場所は十分か」の問いに「不足」と回答	真の要因
③ 適正在庫が把握できていない	不働在庫の把握	約41台が患者さんを含めない、故障中、古いなどの要因で不働になっている	真の要因
④ 名前がわかりづらい使って良いか不明	アンケート実施	レンタルや購入品などの名称がわからずルールが徹底されていない	真の要因
⑤ 申請ファイルが適正に運用されていない	アンケート実施	入力すべき項目が院内ファイル約15件、院外ファイル約6件（月）未入力	真の要因
⑥ 周知教育がされていない	アンケート実施	50%以上のスタッフがルールについて明確かの問いに「わからない」「いいえ」と回答	真の要因

対策の立案

評価点数(○:5点 △:3点 ×:1点)



重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	担当者	実施期	効果	点	備考
故障、古い車いすの廃棄するタイミングが不明	アンケートによる意識付け	外部講師による研修、説明を受ける	故障、古い車いすを整理する	○	○	○	15	採用
保管場所が狭い	倉庫使用部署で保管庫の整理	イベント備品を院外倉庫へ移動	車いすの置き場所を明確にする	○	○	○	15	採用
適正在庫が把握できていない	使用状況を確認し、各階の適正台数を定める			○	○	○	15	採用
名前がわかりづらい使って良いか不明	・名称を変更する ・「院内在庫」「病院レンタル」「個人レンタル」にシールを貼付 ・「使用可能」の札をつける			○	○	○	15	採用
申請ファイルが適正に運用されていない	・マニュアルを更新する ・ファイルを簡略化する ・共有ファイルにする			○	○	△	13	採用
周知教育がされていない	・マニュアルを更新する ・Unknow's、メール、ミルファイルで全職員へ周知する			○	○	△	13	採用

対策の実施



実施項目 what	誰が who	いつ when	どこで where	何故 why	どのように how
① 故障、古い車いすの廃棄するタイミングを明確にする	全員	6月末迄	院内全体で	検査、修理のタイミングを明確にするため	研修を受ける
② 保管場所を広くする	金子 慈機 加藤 (課)	5月末迄	保管庫で	車いすの保管スペースを広げるため	イベント用品、備品を院外倉庫へ移動する
③ 適正在庫が把握する	加藤 (久田村 五十嵐 美馬)	5月末迄	院内全体で	患者さんへ早く車いすを提供できるようにするため	病院レンタルの台数を適正化する
④ 名前がわかりやすく、使って良いかを明確にする	全員	5月末迄	院内全体で	ルールを徹底するため	呼称を変更、使用可能札を作成し周知する
⑤ 申請ファイルを適正に運用する	伴	5月末迄	院内全体で	ファイル記入漏れを防ぐため	申請ファイル簡略化し、マニュアルの周知
⑥ 周知教育をする	全員	6月末迄	院内全体で	車いす管理を統一するため	マニュアル・フローチャートを周知徹底する

対策の実施①



・故障、古い車いすの廃棄するタイミングを明確にする

①アンケートの実施

Q.故障・変化した車いすの廃棄のタイミングを理解していますか

リハスタッフ100%が不明を回答

②松永製作所の講師による研修を受ける



歴史のある当院の在庫が古く
使用不可能な車いすばかりである事がわかった

対策の実施①



・故障、古い車いすの廃棄するタイミングを明確にする

①故障・古い車いすの整理



院内在庫41台を廃棄、2台を修理

対策の実施②

保管場所を広くする

地域連携課、総務、薬局、看護部の備品を整理



薬局：年1~2回取り出す物一番上へ移動
看護：年1~2回取り出す物他施設へ移動
連携：イベント備品を他施設へ移動
コロナ禍で使用していた備品を他施設へ移動

対策の実施②

保管場所を広くする

保管場所を明確にする

多目的：車いす置き場にラベル
訪問前：歯科用車いす置き場にラベル
2階業者レンタル返却場所にラベル・テープ



対策の実施③

各階の適正台数を定める



階	品名	数量	備考
1F	車いす	7	
	酸架	1	
	トレオク	2	
	大型歩行器	1	
2F	車いす	7	
	酸架	1	
	トレオク	2	
	大型歩行器	1	
3F	車いす	7	
	酸架	1	
	トレオク	2	
	大型歩行器	1	
4F	車いす	7	
	酸架	1	
	トレオク	2	
	大型歩行器	1	

看護主任・リハ主任・発注担当で
適正台数を徹底調査

【各病棟】
車いす7台・酸架1台
トレオク2台
大型歩行器1台

対策の実施④

名前がわかりやすく、使って良い物かを明確にする

名称の変更・シール貼付

院内在庫…病院で購入し保有しているもの → No. 10

病院レンタル…病院として長期レンタルしているもの → 病院レンタル

個人レンタル…患者さん個人名でレンタルしているもの → 個人レンタル

使用可能札を作成・取付

使用可能
使用可能
使用可能
使用可能
使用可能



対策の実施⑤

申請ファイルを適正に運用する

申請ファイルの簡略化

病棟毎ファイルをレンタル種類別に変更

- ① 東院市販車いすレンタル専用ファイル・シート作成
- ② 西院車いすレンタル専用ファイル・シート作成
- ③ 東院市販車いすレンタル専用ファイル・シート作成
- ④ 西院車いすレンタル専用ファイル・シート作成
- ⑤ 東院車いすレンタル専用ファイル・シート作成
- ⑥ 西院車いすレンタル専用ファイル・シート作成

⑦ 東院レンタル専用ファイル・シート作成

ファイルに商品写真を追加・リスト化

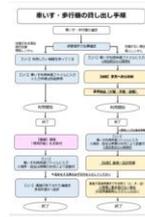
品名	数量	備考
車いす	7	
酸架	1	
トレオク	2	
大型歩行器	1	

品名	数量	備考
車いす	7	
酸架	1	
トレオク	2	
大型歩行器	1	

対策の実施⑥

周知教育をする

マニュアル・フローチャートを変更し周知



効果の確認

目標達成!



全ての車いす保管場所を整理した結果
保管場所からあふれている車いす歩行器の台数は

約36台

↓

0台

効果の確認 アンケート結果

車いすのレンタルルールは明確に定まっていますか
161名の回答



車いすのレンタルルールは明確に定まったと思いますか
151名の回答



「はい」と答えた方が
17.2%UP!!

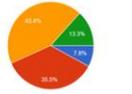
【車いす管理についてのコメント】

- ・ルールが明確になったと思う
- ・レンタル費用の患者負担の検討しても良いと思う
- ・身体にあった車椅子や使いやすい物が選べるようになった
- ・入院は毎日あるので、院内レンタル車椅子がもう少し余裕をもって在庫あればと思う。
- ・病院レンタルをやめてすべて個人レンタルにしたらどうか

効果の確認 アンケート結果



車いすの保管場所については十分だと思いますが
166件の回答



車いすの保管場所について改善されたと思いますか
151件の回答



保管場所について良かったという回答が
56.6%UP!!

【車いす保管場所についてのコメント】

- 古い院内在庫の車いすが撤去されてスペースができた
- リハビリ室の不要な在庫がなくなりました
- 3階はスプリネス前から違う場所への検討が必要かと思う
- 車いすの保管場所を病棟以外の場所にしたい方が多いと思う



無形効果・波及効果

【無形効果】

- 「備品管理は誰かがやるもの」ではなく、「自分たちが使うものは自分たちで改善できる」という意識に変化した。
- TQM活動を通じて、気づきや問題発見力が育成される機会となった。
- 車いすの「所定の位置に戻す」取り組みで、他の物品やエリアの整理整頓の習慣も改善された。

【波及効果】

- 病棟・外来・リハビリ・事務など複数の職種が関わるため、部署間での情報共有や連携が自然と活発になった。
- 車いす利用に関するトラブル（「見つからない」「汚れている」など）が減ることで、不安や不満が軽減し、病院全体への印象が良くなった。



反省点と今後の課題

	良かった点	反省点・今後の課題
テーマ選定	病院としての大きな課題であった点に多職種で取り組める事ができた	なし
現状把握	病棟毎の対応の違いなども理解できた	なし
目標設定	多職種で取り組める目標となった	時間に余裕を持って取り組みると、更に良いものとなった
対策立案・実施	スピーディ且つ効果的に取り組むことができた	限られた院内スペースをさらに有効活用していける提案をしたい
効果の確認	見てわかる対策で全職員に感じてもらうことができた	時間に余裕を持って取り組みると、更に良いものとなった
標準化と管理の定着	今後の役割や時期を明確にできた	確実に実施できるように周知確認をしていく

効果の確認 アンケート結果



Q:シーティングの研修を受け、花川病院でも採用したら良いと思う点

【研修を受けたコメント】

- シーティングの見直しを担当セラピストで定期的に（カンファレンスごとなど）見直せたら良いと感じました。また自分で除圧が難しい患者様の褥瘡問題の調整やアシスタントの声かけ指導などができたら良いと感じました。
- 研修内容すべて勉強になりました。役目から患者さんの車椅子調整に活用できて非常に良かったです。
- 患者さんの健康な生活に向けて患者さんに合った車いすを指導出来たら良いと感じました。
- 院内でも定期的な研修を開催してもよいかとおもいます。各病棟で、実例を提示しつつなど。
- 委員会、花川病院、在宅部門の全職員が正しい車椅子の理解すること、**患者さんや利用者に見ていただくような適切なシーティング指導や研修**ができるよう取り組むべきと考えます。

【今後のレンタルについてのコメント】

- グレイスコアをレンタルできたら嬉しいです
- 病棟からの持ち帰り調整できる車椅子がレンタルできればいい。
- クッションが充実し附属品の病院レンタルがあっても良いかと思えます。
- 借りることができる車椅子や歩行補助具のリストをPDF化してパソコンやスマホで見られるようにしてほしいです。



標準化と管理の定着

	何を	なぜ	誰が	いつ	どこで	どうする
標準化	車いす置き場を	きれいに保つために	総務課主任が	1か月に一度	返却場所を	確認する
管理	車いすの利用・返却申請を	返却漏れをなくすために	リハ部主任が 看護部主任が	1か月に一度	申請ファイルを	確認する
	車いすの適正台数を	患者さんの幸せのために	リハ部主任が 看護部主任が 総務部担当者が	半年に一度	院内で	調査・打合せを行う
教育	マニュアルを	新入職員も同じ意識をもてるように	所属部署の教育担当が	1か月以内に	各部署で	指導徹底する



今後の課題

【アンケートから今後の車いす管理に活かせること】

<p>グレイスコアのような奥側からの荷重調整できる車椅子レンタルできたら嬉しいです。</p>	<p>現在レンタル業者と調整中ですが、メンテナンスの問題で難航中。同様機能の他メーカー車いすも視野に入れて進めております。</p>
<p>クッションが充実し附属品の病院レンタルがあっても良いかと思えます。</p>	<p>現在レンタルが可能ですが、車椅子や歩行補助具のリストをPDF化してパソコンやスマホで見られるようにし、マニュアルなども保管場所でも掲示するなど工夫していきます。</p>
<p>清掃を依頼する際、【清掃依頼】【清掃済】が分かるよう札を用意できればわかりやすいと思えます。</p>	<p>今回の活動で「使用可能」札を作りました。再度話し合いを行い、「清掃依頼」札を検討します。全病棟共通のルール化を目指します。</p>
<p>車椅子の保管場所を病棟以外の場所にしたい方が多いと思います。</p>	<p>保管場所に関しては今後も課題となります。当院の限られたスペースで患者さんの邪魔にならない、且つ、職員が皆さんが使いやすい場所というのを工夫して見出していかなければなりません。また、それに伴い、運用も変更していきます。今後ともご協力をお願い申し上げます。</p>

H W F